

第247回福島県災害対策本部員会議（概要）

災害対策本部総括班まとめ

- 1 日 時：平成24年1月30日（月）10：33～10：52
- 2 場 所：災害対策本部・自治会館303会議室
- 3 内 容：

（1）環境放射能測定結果（暫定値）の状況について

事務局：別紙資料により説明

平成24年1月30日午前8時現在、最小値が西会津町野沢小学校の0.04 μ Sv/h、最大値は飯舘村長泥コミュニティセンターの4.47 μ Sv/hとなっている。積雪や低温が測定機器に影響して線量率が低めになっている。概ね横ばいまたは減少傾向を示している。

（2）ワンストップ相談窓口 週報について

オフサイトセンター事務局：別紙資料により説明

先週の実績は393件。

主な問い合わせ内容としては、汚染砕石に関するお問い合わせ、賠償対象地域について対象拡大の要望、医療費無料化についてのご意見などをいただいている。

資料はないが、昨日から一時立入の3巡目を開始している。昨日は田村市で90世帯196名が入っている。今後、2月11日、12日に楢葉町、富岡町、南相馬市、12日には大熊町、双葉町、浪江町で実施予定である。概ね3月末までを目標に実施してまいりたい。

（3）「農林水産業に関する相談窓口」の利用状況について

農林水産部政策監：別紙資料により説明

先週の相談件数は26件。内訳としては、営農については、融資制度、米のモニタリング調査の状況、作付けの見通しなどについての問い合わせである。

流通については県外の方から、安全なものもあるので、もっと販売店に出してほしいとの要望もあった。

（4）「原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口」利用状況について

原子力損害対策担当理事：別紙資料により説明

先週の相談件数は248件で、内容は同じ傾向が続いているが、自主的避難等の対

象となった区域での賠償手続きについての問い合わせや、いわゆる財物賠償の手続きや基準等に関する問い合わせが中心となっている。

(5) 経営・金融・労働の相談状況について

商工労働部長：別紙資料により説明

先週の相談件数は23件。金融については、ふくしま復興特別資金の融資の要件等のご相談、労働については、厚生労働省の被災者雇用開発助成金制度に関する問い合わせなどがある。

また、日赤の家電セットについて問い合わせがあり、現在も寄贈していると回答している。

(6) 福島県警察本部の組織改編等について

県警本部警務部長：別紙資料により説明

福島県警の平成24年の基本方針として、“ふくしまを支える力強い警察、県民とともに復興を目指して”を掲げ、県民の安全・安心に尽力してまいり所存である。そのための体制整備の一環として、組織の新設等を行う。

1つめの災害対策課の新設であるが、昨年の震災以降、災害警備本部を立ち上げて対応しているが、質的にも量的にも業務が増大しており専門的対応が必要であるため、警備部内に災害対策課を新設する。

2つめの警備監の新設については、震災以降に災害警備、国務大臣や皇族などの来県に伴う警護の増加、さまざまな集会やデモなどの対応も増えている。このため、専任の理事官として警備監を設置する。

3つめは、緊急増員に伴う特別出向者関係であるが、本県には22都道府県から350名の現職警察官が出向してくる予定である。来年3月までの期間、本県警察官に身分を切り替えて業務に当たっていただく。

4つめとして、特別警ら隊をこの2月1日に新設する。隊長以下181名の部隊編成となる。本県の警察官は36名で、145名は他県からの特別出向者となる。配置先としては県北、県南、いわき、相双の方部に方部隊を作り活動する予定である。これまで延べ30万人の警察官の応援派遣をいただいております、本日現在でも約660名の他県からの警察官が活動している。

5つめとして、これまでの警察活動について、主に搜索活動についてであるが、延べ319日、延べ人員64,400名の体制で実施してきた。小部隊での搜索は毎日実施しているが、3月11日に向けて大規模な搜索を実施する予定である。未だに216名の行方不明の方がおり、最後の1人まで見つけるべく搜索を継続してまいりたい。

本日はDVDの映像を準備している。主に警戒区域内の状況や、警察の活動状況について写真でまとめたものである。約5分間のフォトムービーになっている。

なお、BGMに使用しているゆずの「栄光の架橋」は、著作権協会等の使用許可を得ているが、録音・録画したものの使用は控えていただきたい。

(DVD上映 約5分間)

次回は、2月2日(木)午後4時から開催する。